

平成19年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [国語A:主として知識]
 全国一生徒(公立)

・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,022,518	10,042	81.6

※ ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	8	90.1
	書くこと	4	73.4
	読むこと	7	80.6
	言語事項	18	80.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	83.5
	話す・聞く能力	8	90.1
	書く能力	4	73.4
	読む能力	7	80.6
	言語についての知識・理解・技能	18	80.3
問題形式	選択式	20	84.2
	短答式	16	79.3
	記述式	1	72.4

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式			短答式	記述式
1一	「満天の星」を聞き手に分かりやすい表現に直す	聞き手を意識して使用する語句を工夫する	○				○					○			86.6	4.6
1二	スピーチの内容にふさわしい題名をつける	話し手の意図を理解し、内容にふさわしい題名を付ける	○				○					○			87.7	0.3
2一	手紙の結語「敬具」に対応する頭語を選択する	手紙の頭語について理解している	○					○				○			85.4	0.3
2二	手紙の本文の書き出しの語を選択する	手紙の本文の書き出しの語について理解している	○					○				○			80.6	0.2
2三	手紙の後付けの適切な書き方を選択する	手紙の後付けについて理解している	○					○				○			55.0	0.4
3一	小説中の表現についての適切な説明を選択する	文脈における自然描写を的確に読み取る			○				○			○			70.0	0.3
3二	小説に描かれた場面と表現についての適切な説明を選択する	比喩等の表現技法に注意して内容をとらえる			○				○			○			71.6	0.4
4一	詩(歌詞)のリズムについての適切な説明を選択する	表現の仕方や詩の特徴に注意して音読し、詩の韻律(リズム)について理解する			○				○			○			75.7	0.6
4二①	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(かをる)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			○				○			○			91.8	2.8
4二②	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(ふるふ)				○				○			○			76.4	4.2
4三	歴史的仮名遣いで書かれた表現を読み取り、様子についての適切な説明を選択する	語句の意味に注意して内容を読み取る			○				○			○			90.6	0.5
5一1	電話の内容をメモする(行事の内容)		○					○				○			95.4	1.5
5一2	電話の内容をメモする(場所)	伝える必要のある内容を簡潔なメモにまとめる	○					○				○			98.0	1.3
5一3	電話の内容をメモする(連絡先)		○					○				○			90.4	1.4
5二	電話の相手の話に不足している情報について質問する	不足している情報に気づき、適切な表現で話し手に確かめる	○				○	○				○			90.1	5.3
6一	インタビューの目的にあった質問内容を考え、質問しなくてもよいものを選択する	目的に沿った質問をする	○					○				○			92.1	0.5
6二	インタビューの一部を読み、改善点として適切なものを選択する	効果的なインタビューの仕方について理解している	○					○				○			80.5	0.6
7一	グラフから読み取れる内容について提示された文章に合うように書く	グラフから情報を読み取り、文章の結論につながるように書く	○				○	○				○			72.4	10.0
8一1	漢字を書く(会社の <u>リ</u> エキを上げる)					○						○	○		68.2	12.8
8一2	漢字を書く(おもしろみが <u>ハン</u> ゲンした)	文脈に即して漢字を正しく書く				○						○	○		66.3	15.0
8一3	漢字を書く(友達に本を <u>カ</u> す)					○						○	○		58.1	7.3

平成19年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [国語A:主として知識]
 全国一生徒(公立)

・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,022,518	10,042	81.6

※ ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	8	90.1
	書くこと	4	73.4
	読むこと	7	80.6
	言語事項	18	80.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	83.5
	話す・聞く能力	8	90.1
	書く能力	4	73.4
	読む能力	7	80.6
	言語についての知識・理解・技能	18	80.3
問題形式	選択式	20	84.2
	短答式	16	79.3
	記述式	1	72.4

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能			選択式	短答式
8二1	漢字を読む(道路を拡張する)	文脈に即して漢字を正しく読む				○					○	○		83.0	4.9
8二2	漢字を読む(草木が繁茂している)					○					○	○		30.3	28.3
8二3	漢字を読む(入会を勧める)					○					○	○		66.2	3.7
8三ア	適切な同訓異字を選択する(税金を納める)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				○					○	○		87.5	0.6
8三イ	適切な慣用句を選択する(努力が水の泡になってしまった)					○					○	○		97.7	0.6
8三ウ	適切な四字熟語を選択する(単刀直入にもの言う)					○					○	○		89.4	0.9
8三エ	適切な語句を選択する(「絶対安静」にしない。)					○					○	○		96.1	0.6
8三オ	適切な語句を選択する(放送は、B劇場から中継した)					○					○	○		86.8	0.8
8三カ	適切な語句を選択する(のどのかわきをいやした)					○					○	○		91.6	0.9
8四	行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を選択する		行書の書き方を理解している				○					○	○		78.3
8五	文字を読みやすくするための改善点を選択する	文字の大きさや配列・配置を考えて書く				○					○	○		83.5	1.0
8六	「枕草子」の冒頭を書く	代表的な古典に親しんでいる		○		○					○			88.0	5.7
8七ア	文を推敲する(主語・述語の対応)	文の成分の照応に注意して書く				○					○	○		91.7	4.3
8七イ	文を推敲する(副詞の呼応)					○					○	○		88.1	4.8
8八ア	適切な敬語を選択する(尊敬語)	生活の場面で敬語を適切に使う				○					○	○		93.8	1.0
8八イ	適切な敬語を選択する(謙譲語)					○					○	○		89.4	1.0

平成19年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [国語B:主として活用]
全国一生徒(公立)

・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,023,009	10,039	72.0

※ ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	1	81.3
	書くこと	3	64.4
	読むこと	9	70.6
	言語事項	1	68.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	64.4
	話す・聞く能力	1	81.3
	書く能力	3	64.4
	読む能力	9	70.6
	言語についての知識・理解・技能	1	68.5
問題形式	選択式	5	79.3
	短答式	2	63.5
	記述式	3	64.4

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式			短答式
1一	話題を具体化するために資料を用いる箇所を選択する	話すことの内容に応じて、適切な資料を提示する	○					○			○			81.3	0.4
1二	ロボットを開発した人の考えに合う内容を表から選択する	必要な情報を収集し、表現に生かす			○					○	○			92.5	0.4
1三	ロボットと共存する未来社会について想像し、自分の考えを書く	情報を基に、根拠を明らかにしながら、自分の考えが適切に相手に伝わるように書く		○	○		○	○	○			○		75.9	9.6
2一	「蜘蛛の糸」を読み、その内容や表現についての適切な説明を選択する	作品の内容や表現上の特徴をとらえる			○					○	○			81.3	0.6
2二アイ	「蜘蛛の糸」の一部分を朗読する場合の適切な工夫を選択する	作品の展開や心情の変化に着目して朗読する			○	○				○	○	○		68.5	0.6
2三	「三」の場面の有無に関して、自分の考えを80字以上120字以内で書く	作品の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを書く		○	○		○	○	○			○		74.8	10.1
3一	広告カードについての会話文とカードの内容から、書いた人を特定する	表現の仕方の特徴をとらえる			○					○				73.1	0.8
3二(1)	中学生が作成した広告カードに共通して書かれている情報を二つ書く	広告カードを比較して、共通して書かれている情報を読み取る			○					○				73.2	6.8
3二(2)					○					○				53.9	10.0
3三	中学生の広告カードと、店員が作成した広告カードを比較し、違いを説明する	資料に表れているものの方や考え方をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書く	○	○			○	○	○			○		42.6	12.4

平成19年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [数学A:主として知識]
 全国一生徒(公立)

・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,023,316	10,040	71.9

※ ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	12	74.4
	図形	12	75.5
	数量関係	12	65.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な表現・処理	14	70.6
	数量・図形などについての知識・理解	22	72.8
問題形式	選択式	18	70.9
	短答式	18	73.0
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
1(1)	$2/3 \div 5/7$ を計算する	分数の除法の計算をすることができる	○					○				82.5	7.0
1(2)	$1/3, 0, -2.4, -1/2$ の中から、最小の数を選ぶ	正の数と負の数の大小関係を理解している	○					○	○			85.2	0.3
1(3)	$2 \times (-3)^2$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算をすることができる	○					○		○		88.3	1.5
1(4)	$8 - 5 \times (-6)$ を計算する	四則を含む正の数と負の数の計算をすることができる	○					○		○		77.1	1.9
2(1)	$(2x+7y) - 2(x-3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算をすることができる	○					○		○		72.9	3.8
2(2)	$a=5, b=-4$ のときの式 $3a+5b$ の値を求める	文字式に数値を代入して式の値を求めることができる	○					○		○		83.1	7.3
2(3)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a+b)$ が表す量を選ぶ	文字式の意味を、具体的な事象の中でよみとることができる	○					○		○		62.6	0.7
2(4)	$2x+3y=9$ を y について解く	等式を目的に合うように変形することができる	○					○		○		55.9	12.9
3(1)	一次方程式を解くとき、移項の意味を選ぶ	方程式の移項と等式の性質の関係を理解している	○					○	○			60.8	1.4
3(2)	$4(x+5)=80$ を解く	() を含む一元一次方程式を解くことができる	○					○		○		82.9	7.1
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	数量の関係をとらえ、連立二元一次方程式を立式することができる	○					○		○		70.4	12.3
3(4)	連立方程式 $5x+7y=3, 2x+3y=1$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○					○		○		71.9	9.8
4(1)	線対称な図形の対称軸を選ぶ	線対称な図形の対称軸を理解している		○				○	○			83.3	0.9
4(2)	角の二等分線の作図の手順を選ぶ	角の二等分線の作図の手順を理解している		○				○	○			85.7	0.8
5(1)①	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	空間での平面と直線の位置関係(面と辺の垂直)について理解している		○				○		○		65.9	4.0
5(1)②	直方体において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間での直線と直線の位置関係(ねじれの位置)について理解している		○				○		○		70.1	4.6
5(2)	長方形を1回転させてできる立体を選ぶ	円柱が長方形の回転により構成されていることについて理解している		○				○	○			86.7	0.7
5(3)	円錐の展開図を選ぶ	円錐の見取図を展開図へ置き換えることを理解している		○				○	○			88.1	0.6
5(4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している		○				○	○			36.5	0.8
6(1)	平行線の同位角の大きさが等しいことを利用して、角の大きさを求める	平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している		○				○		○		91.3	2.5
6(2)	円周角から中心角を求める	同じ弧に対する円周角と中心角の関係を理解している		○				○		○		85.4	6.3
6(3)	平行四辺形になるための条件を表した記号をもとに、正しく述べられた文を選ぶ	記号を用いて表された辺の位置関係や相等関係の意味を理解している		○				○	○			66.4	0.9

平成19年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [数学A:主として知識]
 全国一生徒(公立)

・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,023,316	10,040	71.9

※ ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	12	74.4
	図形	12	75.5
	数量関係	12	65.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な表現・処理	14	70.6
	数量・図形などについての知識・理解	22	72.8
問題形式	選択式	18	70.9
	短答式	18	73.0
	記述式	0	

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
7	証明の意義や必要性について、正しいものを選ぶ	証明の意義について理解している	○					○	○			72.9	1.2
8	証明で用いられた三角形の合同条件を選ぶ	証明をよみ、用いられた三角形の合同条件を理解している	○					○	○			73.2	1.0
9(1)	比例の意味を表した記述を選ぶ	比例の意味を理解している		○				○	○			83.2	1.2
9(2)	比例のグラフから式を求める	比例のグラフから式を求めることができる		○			○			○		66.9	9.9
10(1)	反比例の表を完成する	反比例の関係を表す表から、表中の値を求めることができる		○			○			○		46.2	4.9
10(2)	反比例のグラフを選ぶ	反比例の関係を表すグラフの特徴を理解している		○				○	○			67.9	1.3
11(1)	一次関数を表した事象を選ぶ	2つの数量の関係が一次関数になることを理解している		○				○	○			63.8	1.8
11(2)	一次関数のグラフを選ぶ	一次関数のグラフの傾きや切片の意味とグラフの特徴を理解している		○				○	○			59.7	1.7
12(1)	一次関数のグラフ(時間と道のりの関係を表したグラフ)から速さを求める	速さの求め方を理解している		○				○		○		74.9	9.6
12(2)	一次関数のグラフ(時間と道のりの関係を表したグラフ)から速さを求める	グラフから速さを求めることができる		○			○			○		61.0	11.9
13	連立方程式の解をグラフ上の点から選ぶ	連立方程式の解が、2直線の交点の座標として求められることを理解している		○				○	○			68.5	2.1
14(1)	確率を表した事象を選ぶ	確率の意味について理解している		○				○	○			49.2	1.6
14(2)	総当たり戦の試合数を求める	樹形図や表などを利用して、場合の数を求めることができる		○			○			○		67.6	7.8
15	平均の意味を表した記述を選ぶ	平均の意味について理解している		○				○	○			81.9	1.8

・以下の集計値は、4月24日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

生徒数	学校数	平均正答率(%)
1,023,516	10,033	60.6

※ ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	5	48.2
	図形	2	53.1
	数量関係	10	67.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	13	56.5
	数学的な表現・処理	3	66.5
	数量・図形などについての知識・理解	1	93.0
問題形式	選択式	3	63.9
	短答式	7	74.2
	記述式	7	45.1

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	数量関係	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
1(1)	レストランのセットメニューで、条件を満たすメニューの選び方が何通りあるかを求める	情報を分類整理することができる			○		○			○		68.1	1.8
1(2)	レストランのセットメニューで、条件を満たすメニューを選択する	情報を分類整理し適切に選択し、判断することができる			○		○		○			44.8	0.5
1(3)	レストランのセットメニューの代金から、条件に合う注文をした人がいたかどうかを答え、その理由を説明する	筋道を立てて考えることができ、数学的な表現を用いて説明することができる	○				○			○		52.9	2.5
2(1)	連続する3つの自然数の和の性質について、式からよみとることを選ぶ	説明を振り返って考えることができる	○				○		○			54.8	1.6
2(2)	連続する5つの自然数の和が5の倍数になることを説明する	ものごとを発展的に考えることができる	○				○			○		40.9	29.2
3(1)	サッカー大会の総当たり戦での順位を決め方から、指定されたチームの点数を計算する	与えられた情報を的確に処理することができる			○		○			○		86.5	2.8
3(2)	チームの順位を決め方をもとに、1位のチームを選ぶ	情報を的確に処理し、その結果を比較することができる			○		○		○			92.1	0.9
3(3)式	条件に合った計算式を新たにつくる	問題解決の構想を立て、結果を振り返りながら、数学的な表現を用いて説明することができる	○				○			○		49.8	35.0
3(3)理由	新たにつくった計算式が、条件に合うことを説明する		○				○			○		42.7	40.1
4(1)	線分の垂直二等分線の証明で、誤りを指摘する	図形の証明を振り返り、評価することができる		○			○			○		58.4	23.3
4(2)	証明の中の誤りを正しく書き直す	証明の評価にもとづき、改善することができる		○			○			○		47.9	17.4
5(1)	水を熱したときの時間と温度(水温)のグラフから、10分後の水温を求める	グラフから情報をよみとることができる			○			○	○			93.0	4.5
5(2)	時間と水温の関係が一次関数であることが分かるグラフの特徴を説明する	グラフ上の点の並び方を理想化、単純化してとらえることができる			○		○			○		31.1	29.5
5(3)	水温が80℃になる時間を求める方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる			○		○			○		38.7	38.6
6(1)	家から公園を通り図書館まで往復したときの時間と距離の関係を表したグラフの線分が表す事象を答える	グラフから情報をよみとり、事象に対応させて解釈することができる			○		○			○		88.4	8.2
6(2)	グラフをもとに、図書館にいた時間を答える	事象を数学的に解釈し、グラフと対応させてよみとることができる			○		○			○		75.3	6.0
6(3)	家から公園までの速さと、公園から図書館までの速さのどちらが速かったかを選び、その理由を説明する	グラフから情報をよみとり、考えを数学的な表現を用いて説明することができる			○		○			○		61.2	3.6